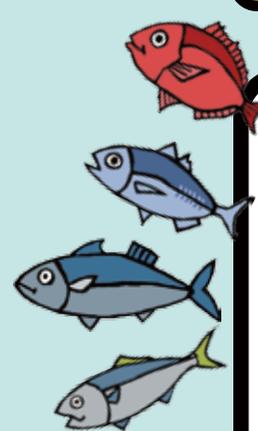




ご自由に!

# まちあるきマップ

# 西ノ島 三度



## 地図



西ノ島の西端  
天照大神伝説!



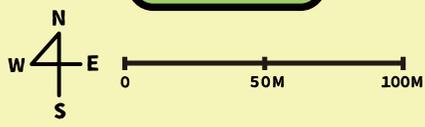
三度、ココです。

## 地図

### 西ノ島

### まちあるきマップ

### 三度



「正月つあん、正月つあん、どこまでござった。三度のかまでござった。」という島前各地に残る古いわらべ唄にも登場する三度地区は、昔から武士や医者かいつとも伝えられており、相当な歴史を持った土地柄だと考えられています。

#### 西ノ島のとど猫

ニホンアシカを西ノ島では「とど」と呼び、三度はとど猫の最前基地として、明治から大正にかいけて捕獲されていました。現在では、乱獲や戦争、気候変動などの原因により、1970年代の目撃情報を最後にニホンアシカは姿を消してしまいました。



さるとひこ  
主祭神は猿田彦大神。  
あめのうずめ  
天鈿女命が祭神の神社  
と合わさってできたため鳥居  
が2つ並んでいます。

まちば  
待場神社  
入り口には若者が  
カカ比べに使用して  
いた「カ石」があります。  
持てるかな?

寺には、明治から大正にかいけて  
盛んだったとど猫で獲ったとど  
(ニホンアシカ)を供養するための  
「とど塚」が建てられています。

三度もーもー館  
(集会施設)  
三度川の護岸整備の記念碑

戦前は自然のままの小川で  
たびたびに氾濫していました。  
その後、石垣で整備された  
護岸が今も残っています。

白露戦争で  
流れついた  
ロシア兵の  
墓があります。

お墓からは  
三度湾を望むこと  
ができます!

待場神社は  
江戸時代に  
ここから  
移転されました。

鬼舞展望所へ続く山道  
2本の道はこの先で合流

昔の防風石壁

#### 天照大神降臨伝説

神代の昔、天照大神は三度の北にある「大神」という海の「立島」に降臨されました。この島にはこの時の「お腰掛の石」があります。やがて天照大神は三度湾に船を入れ「生石島」に上陸されました。最初この場所から海岸に目をやると人影が見え、「人のいそもない海岸に、不思議なことだ」と、そこへ行きましたか、誰の姿もありませんでした。そうしたことが三度あり、三度目には意を決してその先の集落まで足を運んだことから、ここを「三度(みたべ)」というようになりました。人影の正体は、この場所にお迎えに出ていた猿田彦命でした。猿田彦命が天照大神を待っていたところには神社が建てられ、「待場神社」と命名され、現在まで崇拝されています。

西ノ島で唯一  
外海に面した港!

